

3 事業・取組の実績

「横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）」の全 56 の事業・取組の、平成 21 年度実績及びふりかえりを以下にまとめます。

(1) 樹林地を守る

ア 継続保有の促進（できるだけ持ち続けてもらう）

緑地保全制度等の拡充

1. 緑地保全制度等の拡充	・ 事業費のないもの
平成21年度事業概要	
特別緑地保全地区や源流の森の指定面積要件を「5,000㎡以上」から「1,000㎡以上」へ引き下げるとともに、小規模樹林地（300㎡以上）の緑地について、所有者と市が公開を条件に契約すると固定資産税等や維持管理の負担の軽減が図れる「市民緑地」や所有者と市が協定を締結することにより管理負担の軽減や相続時の評価減が図れる「管理協定」の導入へ向けた検討を進めます。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
制度検討	・ 源流の森の指定要件見直し ・ 市民緑地、管理協定の具体策について 検討・調整中
平成21年度のふりかえり	
市民緑地、管理協定の早期導入に向けて、引き続き検討を進めます。	

篤志の奨励制度

2. 篤志の奨励制度	・ 事業費のないもの
平成21年度事業概要	
公開に協力いただいた土地所有者の厚意に対し、謝意を表する看板を設置するなど、顕彰する制度の検討を進めます。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
制度検討	制度の詳細について検討・調整中
平成 21 年度のふりかえり	
市民緑地制度の導入検討と合わせて、制度設計を行う必要があります。	

イ 維持管理推進（安心して持ち続けてもらう）

安全・明るい森づくり

3. 緑地再生・管理事業	拡充事業（横浜みどり税一部充当）
平成21年度事業概要	
<p>明るく健全な樹林地とするため、市民の森等の指定地や市有緑地を対象に、間伐を主とした手入れのほか、住宅地との境界部において実施している草刈りについて、対象範囲をさらに拡大して実施します。</p> <p>また、緑地保全制度によって保全された樹林地のうち、特別緑地保全地区等の非公開型の民有樹林地について、樹林地所有者の維持管理における負担軽減、境界部の草刈りによる周辺住民の安全性・快適性の向上のため、外周部の維持管理に対する助成を行います。</p>	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
緑地再生・管理対象面積：148.0ha	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地再生・管理：109ha（50箇所） ・緑地保全制度に指定している非公開の民有樹林地に対する助成（助成交付19件）
平成21年度のふりかえり	
<p>住宅地との境界部の樹木や雑草が整理されたことで、周辺住民から環境が改善されたと評価されるとともに、樹林地を所有する方からも維持管理の負担が軽減されたと評価されています。</p> <p>より制度の周知を図ることで、制度がより広範に活用されるよう取り組む必要があります。</p>	



写真 緑地再生・管理事業
（公開している樹林地において、見通し確保のための間伐を実施）

4. 緑地防災・安全対策事業	拡充事業（横浜みどり税一部充当）
平成21年度事業概要	
<p>市民の森等の防災対策として、危険斜面地の崩壊予防等の整備を行います。</p> <p>また、市民の森等の指定地や市有緑地を対象に、住宅地との境界部における危険樹木の撤去について、対象範囲をさらに拡大して実施します。</p> <p>また、緑地保全制度によって保全された樹林地のうち、特別緑地保全地区等の非公開型の民有樹林地について、樹林地所有者の維持管理における負担軽減、境界部の危険樹木の撤去による周辺住民の安全性・快適性の向上のため、外周部の維持管理に対する助成を行います。</p>	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
危険斜面整備：1箇所 外周樹木撤去等	危険斜面整備：1箇所（飯島市民の森） 外周樹木撤去等：9箇所 ・緑地保全制度に指定している非公開の民有樹林地に対する助成（助成交付19件）
平成21年度のふりかえり	
<p>住宅地との境界部の樹木や雑草が整理されたことで、周辺住民から環境が改善されたと評価されるとともに、樹林地を所有する方からも維持管理の負担が軽減されたと評価されています。</p> <p>より制度の周知を図ることで、制度がより広範に活用されるよう取り組む必要があります。</p>	



整備前



整備後

写真 緑地防災・安全対策事業（危険斜面整備を実施）

5. 市民協働による緑地維持管理事業		拡充事業（横浜みどり税一部充当）
平成21年度事業概要		
市民との協働により樹林地の維持管理を効果的に行うため、市民の森等において、個別の樹林地の特性に応じた保全管理計画を策定します。		
平成21年度事業目標		平成21年度事業実績
推進		<ul style="list-style-type: none"> ・ 追分市民の森（約 30ha） ・ 矢指市民の森（約 5ha） ・ 東山ふれあいの樹林（約 1.8ha） について森の保全管理計画策定
平成21年度のふりかえり		
市民との協働で、樹林地の特性に応じた保全管理計画を策定しました。市と愛護会との役割分担が明確になり、愛護会によるより自発的かつ多様な保全活動につながっています。		

森の守り人の育成

6. 森づくりリーダー等育成事業		新規事業（横浜みどり税充当）	
平成21年度事業概要			
森の手入れを行う「森づくりボランティア」、森づくりボランティアを指導する「森づくりリーダー」、来園者に森の情報を提供し案内を行う「はまレンジャー」を育成します。			
平成21年度事業目標		平成21年度事業実績	
森づくりボランティア：50人	森づくりリーダー：5人	はまレンジャー：5人	研修 2 回実施（37 人） 研修実施（4 人） 制度創設、説明会実施（説明会出席者：4 人）
平成21年度のふりかえり			
森づくりにかかわるボランティアやリーダーを育成することで、森づくり活動に関わる市民の裾野を広げることができました。			
育成された人材が森づくり活動に円滑につながるような仕組みづくりが必要です。			

7. 愛護団体活動アップ支援事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
市民の森愛護会等が行う維持管理の水準をさらに高めるため、助成により活動を支援します。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
愛護団体支援：50団体	<ul style="list-style-type: none"> ・制度改訂 ・助成交付：1団体 ・活動支援：8団体
平成21年度のふりかえり	
<p>助成した愛護会やボランティア団体では、活動を周辺住民に広くPRするなど、活動への理解を得ることができ、より円滑な活動につなげることができました。</p> <p>助成の成果を広く周知することで、活動がさらに活発になるように図る必要があります。</p>	



写真 愛護会活動アップ支援事業
（愛護会に対するアドバイザー派遣の様子）

8. 森づくりボランティア活動助成事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
ボランティア団体が森の保全活動を自主的・計画的にとり組めるよう、助成により活動を支援します。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
森づくりボランティア活動助成：37団体	<ul style="list-style-type: none"> ・制度創設 ・助成交付：1団体
平成21年度のふりかえり	
<p>助成した愛護会やボランティア団体では、活動を周辺住民に広くPRするなど、活動への理解を得ることができ、より円滑な活動につなげることができました。</p> <p>助成の成果を広く周知することで、活動がさらに活発になるように図る必要があります。</p>	

ウ 利活用促進（里山を活かした楽しみと資源の活用）

森の楽しみづくり

9. 景観の森・生き物の森事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
人も生きものもにぎわう森とするため、市民の森等で、新緑や紅葉が美しい樹種、野鳥や昆虫が好む樹種等を植樹します。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
3ha	0.6ha (新治市民の森、追分市民の森で実施)
平成21年度のふりかえり	
景観や生き物の生息環境に配慮した計画の策定、苗木の準備を行い、植樹により人も生き物もにぎわう森づくりにつなげることができました。 今後も、保全管理計画に基づき、樹林地の特性に配慮しながら、森づくりを進める必要があります。	

10. 森の中のプレイパーク事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
樹林地の特性を生かしたプレイパークの実施により、木との触れあいを通じ、森林環境を考える心を育てる「木育」の実践等を進めます。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
1箇所	・街なかで木製遊具を使ったイベントを実施（5箇所、2,199人） ・樹林地でイベントを実施（1箇所、50人）
平成21年度のふりかえり	
樹林地以外の場所を含め、様々な内容でイベントを実施することで、今後の事業展開の有益な知見を得ることができました。 これらの実績を踏まえ、市民参加や地域の理解を得ながら、事業を展開する必要があります。	

11. 森の収穫物体験事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
森の恵みを知り、感謝できるよう、竹林や農地のある市民の森等で収穫体験をし、その収穫物を活用する集い等を開催します。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
3回	4回実施（85人）
平成21年度のふりかえり	
森の収穫物を活用した様々な集いを開催することで、参加者から好評を得ており、市民と森をつなげる機会を提供することができました。 今後、より効率的な事業の展開を検討する必要があります。	

12. 里山ライフ体験事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
里山の生活体験ができるよう、豊かな里山景観や古民家のある森等を活用し、里山生活・習慣を楽しめる体験イベントを開催します。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
2回	3回実施（57人）
平成21年度のふりかえり	
里山の生活・習慣を楽しめる体験イベントを開催することで、参加者から好評を得ており、身近な自然・文化の普及啓発につなげることができました。 今後、より効率的な事業の展開を検討する必要があります。	



写真 森の収穫物体験事業
（ふきのとう味わい体験の様子）



写真 里山ライフ体験事業
（わらじ作りの様子）

13. 健康の森事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
距離を記した案内サインの設置等、市民の森等をウォーキングの場として活用します。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
距離標設置：2箇所 イベント等：9回	ガイドマップ及び既存施設を活用して実施 9回実施 (ウォーキングツアー、スタンプラリー)
平成21年度のふりかえり	
市民の森を活用したウォーキングのイベントを実施することで、市民の健康づくりに資するとともに、森の魅力をPRすることができました。 今後、より効率的な事業の展開を検討する必要があります。	



写真 健康の森事業
(森林浴～セラピー体験ウォーク～の様子)

14. 横浜の森の自然・生き物情報発信事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
市民の森等の周知・利用促進を図るため、自然・生き物情報をパンフレット等で提供します。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
推進	ガイドマップ作成 (横浜自然観察の森等3地域)
平成21年度のふりかえり	
市内のまとまりのある樹林地や農地等の幅広い情報を取り入れたガイドマップを作成することで、横浜の自然の魅力を効果的に発信できるようになりました。 今後、イベント等での積極的な活用を図ることで、普及啓発に努める必要があります。	

森づくり市民提案制度の創設

15. みどりの夢かなえます事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
市民が森づくりに関する夢のある提案をし、直接参画して取り組めるよう市民提案制度を創設し、市民の自発的な活動を支援します。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
3件	<ul style="list-style-type: none"> ・制度創設 ・助成交付：3件
平成21年度のふりかえり	
市民提案制度を創設し、森の未来を考えるシンポジウム開催など、市民の森づくりに関する自発的な活動を支援することで、森づくり活動の広がりにつながる取組ができました。	

森の資源循環促進

16. 間伐材資源循環事業	拡充事業（横浜みどり税一部充当）
平成21年度事業概要	
森の手入れの促進やボランティア活動の活性化を図るため、森林管理で生じたせん定枝や間伐材をチップ化する研修事業に加え、実際に間伐材の再利用を進めるとともに、間伐材の資源循環を検討していきます。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
推進	<ul style="list-style-type: none"> ・制度創設 ・研修実施（3回、49人） ・間伐材チップ化作業支援を実施(28回)
平成21年度のふりかえり	
せん定枝や間伐材のチップ化により、愛護会活動の支援になり、好評を得ました。また、資源循環が図られることにより、森の環境の向上につながることができました。	



チップ化作業中



チップ敷き均し後

写真 間伐材資源循環事業(間伐材チップ化支援事業の様子)

17. 間伐材活用クラフト作成事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
間伐材を有効活用するため、モデル的に市民によるクラフト作成を行い、利活用につなげていきます。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
推進	教室 14 回実施（352 人）
平成21年度のふりかえり	
間伐材を活用したクラフト教室を開催することで、森の資源の活用が図られるとともに、市民の森づくりへの関心を高めることができました。 今後、より効率的な事業の展開を検討する必要があります。	



写真 間伐材クラフト作成事業
（間伐材を用いた表札作りの様子）

ウェルカムセンター等の整備

18. 愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業	新規事業等（横浜みどり税非充当）
平成21年度事業概要	
愛護会や森づくりボランティアの活動が活性化するように、活動拠点を整備するため、基本設計を行います。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
設計：1箇所	設計：1箇所（もえぎ野ふれあいの樹林）
平成21年度のふりかえり	
愛護会の活動の活性化につながる拠点の設計を行うことができました。施設整備を進めるとともに、完成後に施設を最大限に活用できるよう、管理・運営方法について検討する必要があります。	

19. ウェルカムセンター整備事業	新規事業等（横浜みどり税非充当）
平成21年度事業概要	
市民が気軽に立ち寄り、森の散策情報やイベント情報等が得られるなど、市民が森を利用しやすい機能を備えたウェルカムセンターを設置するため、基本設計を行います。	
平成21年度事業設計：1箇所目標	平成21年度事業実績
設計：1箇所	基本構想策定
平成21年度のふりかえり	
既存施設を活用し、森の散策情報等が得られるようなウェルカムセンターの構想を検討しました。さらに、既存施設の機能拡充とあわせた効率的な事業展開の検討が必要です。	

森林教室等の開講

20. 森の恵み塾事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
森づくりボランティアへの関心につながるよう、多くの市民を対象に、樹林地の特性を生かした多様なメニューによる森林教室等による環境教育を、区役所等と連携して開講します。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
2拠点で実施	北の森・南の森を中心に 32 回実施 (1,840 人)
平成21年度のふりかえり	
樹林地の特性を生かした多様な森林教室等を実施することで、多くの参加者があり、高い評価を得ることができました。 森への関心を持った市民が、ボランティア活動などにつながる仕組みづくりが必要です。	



写真 森の恵み塾事業
(家族で楽しむ自然体験の様子)

エ 確実な担保（いざという時の買取りなど）

緑地保全制度による地区指定拡大と買取り

21. 特別緑地保全地区指定等拡充事業	拡充事業（横浜みどり税一部充当）
平成21年度事業概要	
<p>緑地保全制度のメリット等をPRし、「緑の10大拠点」のようなまとまった規模の緑や市街地に残る斜面緑地などの貴重な緑について、市民の森・源流の森・特別緑地保全地区などの積極的な地区指定を進めます。</p> <p>また、特別緑地保全地区や市民の森等の指定地で、相続等不測の事態の発生によって持ち続けることが困難になり、所有者から市への買取り希望があった場合、樹林地の買取りを行います。</p>	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
<p>指定面積：51.6ha 買取り対応予定面積：約16ha</p>	<p>指定面積：87.8ha 買取り対応面積：9.6ha (11地区・特別緑地保全地区等)</p>
平成21年度のふりかえり	
<p>樹林地を所有する方へ制度のPRを行い、指定の意向調査を行いました。緑地の指定が大幅に進むとともに、所有する方の相続等不測の事態などに対応した取得を行ったことで、樹林地の保全の取組が進みました。</p> <p>実績を踏まえて、より多くの所有者の理解が得られるよう働きかけてまいります。</p>	



写真 特別緑地保全地区指定等拡充事業
【指定地】大丸山近郊緑地
特別保全地区(栄区)



写真 特別緑地保全地区指定等拡充事業
【買取り地】もえぎ野ふれあいの
樹林(青葉区)

よこはま協働の森基金制度の見直し

22. よこはま協働の森基金制度の見直し		・事業費のないもの
平成21年度事業概要		
樹林地保全施策全体の中で制度のあり方を検討するとともに、より活用される制度とするため、適用条件の緩和等を図ります。		
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績	
-	市民緑地、管理協定の導入等とあわせて検討中	
平成21年度のふりかえり		
より活用しやすい制度とするため、市民緑地制度等の検討とあわせて見直しを進める必要があります。		

国への制度要望

23. 国への制度要望		・事業費のないもの
平成21年度事業概要		
相続税の納税対象に緑地が含まれる場合は、緑地の保全を優先すること、また、緑地保全等に係る税制上の負担軽減措置の創設・拡充等を国に対し要望していきます。		
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績	
推進	5月、12月に実施	
平成21年度のふりかえり		
緑地保全につながる制度の創設・拡充について要望しました。今後も機会を捉えて提案を継続・強化する必要があります。		

(2) 農地を守る

ア 継続保有の促進（できるだけ持ち続けてもらう）

生産緑地制度等の活用

24. 生産緑地制度の活用	・ 事業費のないもの
平成21年度事業概要	
生産緑地制度を積極的に活用することで、指定拡大を図ります。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
制度運用	制度見直し完了（22年度から運用開始）
平成21年度のふりかえり	
指定要件を緩和し、農協等を通じて農地所有者に周知したことで、生産緑地制度を積極的に活用し、市街化区域の農地保全を進める準備が整いました。	

25. 農園付公園整備事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
借地公園制度を活用して分区園を主体とする都市公園（農園付公園）を整備することにより、農地の継続保有と活用を図ります。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
・ 用地測量 ・ 基本計画策定	候補地を選定し、土地所有者と調整中 （1箇所）
平成21年度のふりかえり	
1箇所の農園付公園の候補地を選定しました。土地所有者との調整が整い次第、事業を開始します。今後、整備内容、管理運営について具体的な検討を進めるとともに、本格的な展開に向けた取組が必要です。	

26. 農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減	・ 事業費のないもの
平成21年度事業概要	
農業経営上不可欠な農業用施設用地の固定資産税・都市計画税の負担軽減を図り、農業経営の安定と農地保全を推進します。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
-	・ 制度創設 ・ 農業用施設指定：28件（約0.37ha）
平成21年度のふりかえり	
農業用施設用地の税負担を軽減することで、農業経営の安定化が図られ、ひいては農地の保全が進みました。 今後は手続きの方法を工夫することで、さらに制度の利用を増やすことが必要です。	

イ 農業振興（地産地消に着目した農業振興策）

地産地消の推進

27. 共同直売所の設置支援事業	新規事業等（横浜みどり税非充当）
平成21年度事業概要	
市民が身近な場所で地場農産物を購入できるよう、駐車場等を備えた多機能型の共同直売所を設置する際に、その整備に対し支援を行います。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
設備助成：1箇所（保冷库）	設備助成：1箇所（直売所の保冷库・泉区）
平成21年度のふりかえり	
共同直売所の備品整備を支援することで、直売所のサービス水準が向上しました。今後、地産地消を一層進めるため、事業を展開する必要があります。	



写真 共同直売所の設置支援事業（保冷库と直売所の様子）

28. 収穫体験農園の開設支援事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
市民が身近なところで地産地消を実感できるよう、ナシのもぎ取りやブルーベリーやイチゴの摘み取りなど、市民が収穫体験をすることができる果樹園や農園の整備を支援します。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
整備予定面積：0.8ha	整備助成：1.05ha（9箇所） ・イチゴ・トマト栽培施設： 0.15ha（2箇所） ・果樹園：0.9ha（7箇所）
平成21年度のふりかえり	
収穫体験農園の開設を支援することで、市民が身近な場所での収穫体験を通して、地産地消を実感できる機会が増えました。	

施設の省エネルギー化の推進、生産用機械のリース方式による導入

29. 施設の省エネルギー化推進事業	新規事業等（横浜みどり税非充当）
平成21年度事業概要	
生産温室等からの二酸化炭素の削減と農業経営の安定化のため、温室等の農業用施設に省エネ型の設備を導入する際に助成を行います。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
0.4ha	助成交付：0.4ha（4箇所、保温カーテン、循環扇、ヒートポンプ）
平成21年度のふりかえり	
温室等の農業用施設の省エネ化を支援することで、農業経営の安定化が図られるとともに、二酸化炭素排出量が減少し、環境の向上に資することができました。これらの事例をモデルとした効果的なPRを行う必要があります。	



写真 施設の省エネルギー化推進事業
（ビニールハウスに設置した循環扇の様子）

30. 生産用機械のリース方式による導入事業	新規事業等（横浜みどり税非充当）
平成21年度事業概要	
大型高性能の省力機械等を共同利用する場合に、リース業者の機械の導入費を助成することで、利用時の負担を軽減し、機械の円滑な導入を図ります。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
農業機械のリース：2台	リース会社と事業の仕組み等について調整し、事業案を作成
平成21年度のふりかえり	
複数の農家で共同利用する農業用機械の導入を支援する仕組みを検討しました。今後は制度が活用されるよう、積極的にPRする必要があります。	

ウ 農地保全（周辺環境との調和と生産性向上）

田園景観や水田保全対策

31. 集团的農地の維持管理奨励事業	新規事業等（横浜みどり税非充当）
平成21年度事業概要	
農地がもつ、遊水機能、地下水涵養などの環境面での役割を評価し、水利組合など地域の農地管理を行う団体等に対し、支援を行うことで、農地管理と景観の保全を図ります。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
農地管理団体交付金：380ha	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制度創設 ・ 農地管理団体交付金：470ha（32団体）
平成21年度のふりかえり	
農地を良好に維持・管理している団体等を支援することで、より維持管理活動が活発になり、環境面や景観面での農地の評価が高まりました。	



写真 集团的農地の維持管理奨励事業
（農家による水路の一斉清掃の様子）

32.水田保全契約奨励事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
収益性がよくないため年々減少の一途をたどる水田ですが、貯水機能や景観形成などの多面的機能が強く、人と自然の関わりの中で育まれてきた市民共有の貴重な自然環境として保全する必要があります。そこで、10年間の水稲作付の継続を条件に支援を行い、水田面積の減少を食い止めていきます。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
50ha	約 89ha（契約件数：449 件）
平成21年度のふりかえり	
市との契約により水田の保全を行う制度を創設したところ、多くの所有者から賛同を得ることができ、優れた景観の保全や都市環境の保全が図られました。	



写真 水田保全契約奨励事業
（青葉区田奈町）



写真 水田保全契約奨励事業
（泉区和泉町）

生産基盤整備の拡充

33. かんがい施設整備事業	新規事業等（横浜みどり税非充当）
平成21年度事業概要	
農地の安定的利用に効果のある畑地かんがい施設等について、防災協力農地への登録を条件に設置対象農地の基準を拡充し、これまで対象としていなかった2ha未満の小規模集団農地への整備を可能とします。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
簡易かんがい施設整備：1地区	簡易かんがい施設整備：1地区
平成21年度のふりかえり	
防災協力農地への登録を条件に対象農地の基準を緩和したことで、小規模だが優良な農地を保全できるとともに、地域の防災性の向上に資することができました。	

不法投棄対策、周辺環境に配慮した生産環境整備

34. 不法投棄対策事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
農業専用地区など、夜間人通りの少ない集団農地への不法投棄を防止するため、警報装置の設置や、ボランティア市民による見回りなどに対する支援を行います。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
監視警報装置設置：5地区 夜間監視パトロール：10地区 清掃活動支援：6地区	監視警報装置設置：8地区 夜間監視パトロール：24地区 清掃活動支援：5地区
平成21年度のふりかえり	
不法投棄の多い地区で警報装置の設置や、他局区と連携したパトロールを行うことで、農地とその周辺の環境の向上を図ることができました。今後は効果の検証を行い、より効果的な方法を検討する必要があります。	

35. 環境配慮型施設整備事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
農薬飛散、臭いなど営農活動に伴う周辺住民とのトラブルを防止するため、必要な施設等の整備を支援し、都市と農業の共存を図ります。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
農薬飛散防止対策：2.13ha その他施設整備：1件 牧草による環境対策：20地区	農薬飛散防止対策：2.89ha (農薬飛散防止ネット整備に助成交付) その他施設整備：1件 (堆肥散布機の購入補助) 牧草による環境対策：4地区 (冬季作付け分に奨励金交付)
平成21年度のふりかえり	
農業に伴って発生する近隣とのトラブルを避けることができるようになり、農作業の効率化ができるようになったと好評を得ています。 今後は制度がより活用されるよう、積極的にPRする必要があります。	

エ 担い手育成（農業を支える多様な担い手）

機械作業の受託組織の育成

36. 機械作業受託組織育成事業	新規事業等（横浜みどり税非充当）
平成21年度事業概要	
<p>高齢化や兼業化などによる労働力不足の農家や、必要な機械を持たない農家などの農作業を支援するため、地域に根ざした機械作業を受託する組織を育成し、農地の荒廃を防止します。</p>	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
事業実施検討：1地区	事業実施検討：1地区（青葉区田奈地区） 組織設立に向けて検討し、事業イメージを作成
平成21年度のふりかえり	
<p>青葉区田奈地区で受託組織の立ち上げに向けたワークショップを行い、組織イメージやスケジュールの確認ができ、農地の荒廃の防止に向けて動き出しました。今後、着実に組織化を進める必要があります。</p>	

コーディネーターの活用

37. 担い手コーディネーター育成・派遣事業	新規事業等（横浜みどり税非充当）
平成21年度事業概要	
<p>市民協働による農作業を促進するため、市民と農家の橋渡しができる人材を派遣し、労働力不足の農家への支援や市民農園の拡充を図ります。</p>	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
育成研修実施回数：2回 援農コーディネーター制度の確立： 援農受入意向調査実施	育成研修実施回数：2回 援農コーディネーター制度の確立： 援農受入意向調査実施
平成21年度のふりかえり	
<p>市民農園の開設に向けた人材育成を行うとともに、人材の受入れ側の意向を把握したことで、市民協働による農地保全を進める準備が整いました。今後は具体的な仕組みづくりを行う必要があります。</p>	

農業後継者・横浜型担い手育成

38. 農業後継者・横浜型担い手育成事業	新規事業等（横浜みどり税非充当）
平成21年度事業概要	
<p>担い手農家の経営改善に必要な支援として、これまで実施してきた制度資金借り入れに対する利子補給とは別に、新たに、農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者のほか、環境保全型農業推進者や直売ネットワーク参加農家等も横浜型担い手として認定し、経営改善に必要な農業機械や設備の導入に対して助成します。これにより、農業経営の改善を支援し、農業経営基盤を強化し、農業の持続と農地の保全を図ります。</p>	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
経営改善支援：39件	<p>経営改善支援：45件 （認定農業者22件、 認定農業者に準じる農業者23件）</p>
平成21年度のふりかえり	
<p>環境にやさしい農業や地産地消を進める農家に農業機械等の導入支援をしたことで、農業経営の安定につながりました。今後は制度が活用されるよう、積極的にPRする必要があります。</p>	

農地の貸し手への支援

39. 農地貸付促進事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
<p>従来、市が仲介する農地貸借は3年以内の短期が大半であり、借り手である規模拡大希望農家や農業に参入する法人の営農計画に支障をきたしていました。そこで、貸し手の農地所有者に奨励金を交付することで、長期間（6年以上）貸し付けるよう誘導します。</p>	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
2ha	農地法等の改正を反映した事業実施要綱策定
平成21年度のふりかえり	
<p>農地を長期にわたって貸し付けることができるよう支援制度を設け、制度概要を農地所有者（貸し手）へ周知しました。</p>	

オ 確実な担保（いざという時の買取りなど）

公的機関による買取り及びあっせん

40. 市民農園用地取得事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
<p>相続税の支払いのため所有者が手放さざるを得なくなった農地のうち、市民農園用地の適地となるものについては市が買収し、都市公園として農園を整備することで、確実に農地を担保します。</p>	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
制度検討	農園付公園整備事業とあわせて検討中
平成21年度のふりかえり	
<p>公園事業として事業展開するために、農園付公園整備事業とあわせた制度の検討が必要です。</p>	

41. 農地流動化促進事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
<p>相続が発生し農地を手放さざるを得ない農家の優良な農地について、規模拡大希望農家に集積するため、神奈川県農業公社と連携し農地の流動化を促進します。</p>	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
制度策定	農地法等の改正等に伴い、制度内容を見直し
平成21年度のふりかえり	
<p>法律の改正により農地の売買が多様化したことを受けて、制度内容を検討する必要があります。</p>	

国への制度要望

42. 国への制度要望	・事業費のないもの
平成21年度事業概要	
相続税納税猶予制度の対象となる農地の拡大や、市民農園に対する相続税評価の軽減。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
-	5月、12月に実施
平成21年度のふりかえり	
農地保全につながる制度の創設・拡充について要望しました。今後も機会を捉えて提案を継続・強化する必要があります。	

(3) 緑をつくる

ア 緑化推進（地域で取組めば）

地域緑のまちづくり

43. 地域緑化計画策定事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
<p>地域にふさわしい緑化を、地域ぐるみで話し合っって計画づくりを行い、民間施設、公共施設が一体となって緑化に取り組みます。</p> <p>初年度は地域と一体となった緑化の計画づくりを、6地区で進めます。</p>	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
6地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制度創設 ・ 6地区で計画策定中 <ul style="list-style-type: none"> 生麦・守屋町地区（鶴見区・神奈川区） 山手地区（中区） 馬車道地区（中区） 旭北地区（旭区） 名瀬たかの台地区（戸塚区） 上飯田地区（泉区）
平成21年度のふりかえり	
<p>地域住民による自発的な緑化計画づくりに対して、専門家の派遣などの支援を行い、地域にふさわしい緑の街づくりがスタートしました。</p> <p>計画づくりから地域での緑化へ、活動が円滑に進むよう支援を継続する必要があります。</p>	



写真 地域緑化計画策定事業
（ワークショップの様子）

44. 民有地地域緑化助成事業	拡充事業（横浜みどり税一部充当）
平成21年度事業概要	
地域にふさわしい緑化を、地域ぐるみで話し合っって計画づくりを行い、民間施設、公共施設が一体となって緑化に取り組みます。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
地域緑化計画に基づき平成23年度以降実施予定	
平成21年度のふりかえり	
策定された地域緑化計画に基づいて、可能なところから実施する予定です。	

45. 公共施設地域緑化事業	拡充事業（横浜みどり税一部充当）
平成21年度事業概要	
地域にふさわしい緑化を、地域ぐるみで話し合っって計画づくりを行い、民間施設、公共施設が一体となって緑化に取り組みます。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
地域緑化計画に基づき平成23年度以降実施予定	
平成21年度のふりかえり	
策定された地域緑化計画に基づいて、可能なところから実施する予定です。	

公共施設緑化と民有地緑化助成の拡充

【民有地緑化助成事業（46～51）】	新規事業（横浜みどり税充当）
46. 保育園・幼稚園芝生化事業	
平成21年度事業概要	
子供たちがのびのびと遊べる緑の環境をつくりだすため、民間の保育園・幼稚園の園庭芝生化に対し、新たに助成します。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
20園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制度創設 ・ 助成交付：11園（1,241㎡）
平成21年度のふりかえり	
保育園・幼稚園の園庭の芝生化を進めたことで、子供たちが緑に触れながら遊べる環境が整いました。	
実施した事例を紹介するなど、積極的にPRを行う必要があります。	

【民有地緑化助成事業（46～51）】 47. 区民花壇事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
市民に身近な場所での花壇づくりを推進するため、緑化推進団体による整地やレンガなどの資材購入に対し、新たに助成します。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
20箇所	・制度創設 ・助成交付：4箇所（54 m ² ）
平成21年度のふりかえり	
市民に身近な場所での花壇づくりを支援したことで、多くの市民の目に触れる緑を増やすことができました。 より積極的なPRを行い、制度の利用を増やす必要があります。	

【民有地緑化助成事業（46～51）】 48. 生垣設置事業	新規事業（横浜みどり税充当）
平成21年度事業概要	
沿道など、市民の目につきやすい場所の緑を増やすため、財団法人横浜市緑の協会が行っている、ブロック塀から生垣への転換に対し、助成を強化することで、生垣設置を推進します。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
250m	・制度創設 ・助成交付：26m（2件）
平成21年度のふりかえり	
道路沿いなどで、ブロック塀から生垣への転換が進み、多くの市民の目に触れる緑を増やすことができました。 より積極的なPRを行い、制度の利用を増やす必要があります。	



写真 生垣設置事業(ブロック塀から生垣への転換)

【民有地緑化助成事業（46～51）】 49. 屋上緑化助成事業	拡充事業（横浜みどり税一部充当）
平成21年度事業概要	
ヒートアイランド対策など都市環境を向上させるため、市街地における建築物（新築・既存）の屋上及び壁面緑化を推進します。また助成対象を、第1種・第2種低層住居専用地域にまで拡大し、市街化区域全域を対象にすることで、事業の推進を図ります。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
20件	助成交付：12件（351㎡）
平成21年度のふりかえり	
屋上や壁面の緑化が進み、ヒートアイランド現象の緩和など、環境の向上に資することができました。 より積極的なPRを行い、制度の利用を増やす必要があります。	



写真 屋上緑化助成事業
（施工後の様子）

【民有地緑化助成事業（46～51）】 50. 名木古木保存事業	拡充事業（横浜みどり税一部充当）
平成21年度事業概要	
故事・来歴のある樹木を名木古木として指定・保存し、都市の美観風致を維持するため、樹木診断費及び治療費の助成を行っている事業について、所有者の負担を軽減するため新たに助成内容を維持管理費にも拡充し、名木古木の保存を推進していきます。また、新規指定を拡大します。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
新規指定：20本	・新規指定：41本 ・助成交付：11本
平成21年度のふりかえり	
名木古木の新規登録が大幅に進むとともに、新たに設けた維持管理助成の利用が進んだことで、風格のある景観の維持・向上に寄与しました。	

【民有地緑化助成事業（46～51）】 51. 記念樹等生産配布事業	拡充事業（横浜みどり税一部充当）
平成21年度事業概要	
人生の節目を記念して、希望する市民に苗木を配布する記念樹事業に加え、各種記念事業イベント等の機会を捉えて広く苗木を配布し、民有地緑化を推進します。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
19,000本	<ul style="list-style-type: none"> ・ 14,324 本 ・ 記念対象を拡充（市外からの転入、保育園・幼稚園の入園者、就職者）
平成21年度のふりかえり	
記念となる対象を拡充し、より幅広い市民による緑化活動を進めることができました。 今後も様々な機会を捉えたPRが必要です。	

52. 公共施設緑化事業	拡充事業（横浜みどり税一部充当）
平成21年度事業概要	
150万本植樹行動の一環として公共施設等に植樹を行うとともに、150万本植樹行動に関する普及啓発を行います。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
2ha	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2.1ha（114,005本） ・ 公立保育園において芝生化実施： 735 m²、5園
平成21年度のふりかえり	
公立保育園や市民利用施設などの緑化を進めることができました。さらに率先した取り組みを続ける必要があります。	

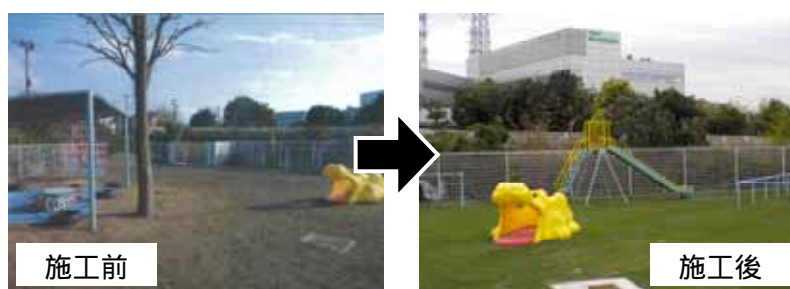


写真 公共施設緑化事業（公立保育園園庭芝生化の様子）

53. 公共施設緑化管理事業	新規事業等（横浜みどり税非充当）
平成21年度事業概要	
公共施設の緑の管理水準を高め、緑ゆたかな街づくりを進めます。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
管理対象緑化面積：123ha	管理実施面積：17.8ha（91施設）
平成21年度のふりかえり	
<p>これまで行き届かなかった公共施設の緑の管理水準を高めたことで、街の美観の向上が図れました。</p> <p>より多くの施設で管理水準が高められるよう、効果的な事業手法等を検討する必要があります。</p>	



写真 公共施設緑化管理事業
（横浜市立みなと赤十字病院
での樹木せん定の様子）

街路樹の維持管理

54. いきいき街路樹事業	拡充事業（横浜みどり税一部充当）
平成21年度事業概要	
都市部の貴重な緑である街路樹の管理について、せん定頻度を高めることにより、都市の美観の向上と樹木の健全で良好な生育を図ります。	
平成21年度事業目標	平成21年度事業実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理対象街路樹（高木）本数： 134,000本 ・ 概ね3年に1回せん定 	<ul style="list-style-type: none"> せん定実施街路樹（高木）本数： 10,212本 （街路樹総数 134,000本から 86路線を選定し、管理を実施）
平成21年度のふりかえり	
都市部の貴重な緑である街路樹のせん定の頻度を高めるとともに、地域の実情に即したきめ細やかな管理を進めたことで、街の美観の向上と街路樹の健全育成が図られました。	

民有地緑化の誘導等

55. 民有地緑化の誘導等		・ 事業費のないもの
平成21年度事業概要		
<p>一定規模以上の敷地に建築を行う場合に緑化を義務付ける緑化地域制度等をはじめ、諸制度を効果的に運用し、かつ充実化を図ります。</p> <p>また、継続して国への制度要望(緑化地域制度の拡充)を行います。</p>		
平成21年度事業目標		平成21年度事業実績
推進		緑化地域制度等運用中
平成21年度のふりかえり		
<p>緑化地域制度等により市街地の緑が増え、緑の街づくりが進みました。</p> <p>商業地など、緑の少ない場所での緑化が進むよう、緑化地域制度の改正を国に提案する必要があります。</p>		

56. 建築物の敷地に対する固定資産税等の軽減		・ 事業費のないもの
平成21年度事業概要		
<p>緑化の基準を5%超える緑化を行い、その緑化部分を10年間保全する契約を締結すると、上乘せ部分に相当する固定資産税等の4分の1を軽減します。</p>		
平成21年度事業目標		平成21年度事業実績
制度運用		<ul style="list-style-type: none"> ・ 制度創設 ・ 緑化保全契約：55件（約14.2ha）
平成21年度のふりかえり		
<p>基準以上に緑化をしている市民に対して、税制面での支援を行ったことで、多くの緑が保全されました。</p> <p>より積極的なPRを行い、制度の利用を増やす必要があります。</p>		